

野木町

教委だより



第1号

令和3年6月

令和3年度のスタートにあたって

教育長 菊地良夫

新型コロナウイルス感染症への不安を抱えながら、新年度を迎えることとなりました。昨年度中は、3月から5月まで教育関係施設は全て休業や縮小運営となり、大きな影響がでました。小中学校においては、年間の勉強時間を確保するため、夏季休業を短縮するという異例の臨時措置を取り対応をまいりました。現在は、各施設に感染拡大防止のための様々な機器等を配備し新たな生活様式を取り入れ、定期的な消毒作業を行いながら運営をしているところです。

この間、多くの企業や団体様から感染防止のための物品等をご寄付くださり、深く感謝申し上げます。これからも、気を緩めることなく、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めてまいります。

このような環境の中、昨年度は、小中学校4校、体育センターのトイレ洋式乾式化を行いました。これで野木町の全小中学校ではトイレの洋式化が完了いたしました。

更には、肢体不自由学級開設のために野木二中にエレベーター、スロープを設置いたしました。

本年度より県内でも数少ない中学校での肢体不自由学級が、県の認可を得、設置することができました。



全校温水洗浄機能付き便座への更新



手洗いを自動水栓機能付きに更新



野木第二中学校にエレベーターを新設

また、国の GIGA スクール構想に沿って、大容量高速通信ネットワーク回線の整備を行い、更には一人一台のタブレットを購入いたしました。野木町では既に各学校にデスクトップ型のパソコンを1クラス分とタブレットを1クラス分を配置し、教育活動に有効活用しております。

これからは一人1台のタブレットが配置されることで、より一層、学校教育において「個別最適な学び」や「協同的な学び」が充実するものと考えております。



全児童・生徒用端末の整備

野木町ではグローバル化の進展に伴い、英語教育の充実を目指しております。小学校では昨年度より5年6年生が「英語科」となり教科に位置づけられました。町では、全小中学校に ALT を配置しネイティブな英語を提供し児童生徒の英語力向上を図っております。

しかし、児童生徒の英語力向上には、教師の指導力向上が要です。特に小学校の教師においては、英語科の授業経験が少なく、年間数日間の研修では十分とはいえません。

そこで、本年度より小学校教職員の英語指導力向上のため、英語力向上推進リーダーを教育委員会に配置し、小学校5校を巡回指導してまいります。リーダーは実際に模範授業を行ったり、授業参観し、教職員へアドバイスをしたりしながら、小学校の先生方が質の高い英語授業が展開できるようにしてまいります。

佐川野小学校では本年度より2年生、3年生が複式学級となります。学びの保障という観点から、町独自に複式解消教員を配置し、学年別の教室で学習ができるようにしてまいります。

佐川野小学校は、体験活動を重視した、小規模校ならではの特色ある教育活動を展開しております。

特認校に町で指定しましたので、野木町全域から入学が可能です。一度見学してください。

生涯学習分野では、本年度より国体推進係を公民館1階の会議室に新設し、本年度8月11日 野木中体育館で行われるプレ大会の準備や令和4年10月に行われる本番に向けての準備にあたってまいります。

また、本年度は、煉瓦窯オープン5周年の記念すべき年でありますので、記念イベントも考えてまいりたいと考えております。

今年度も、町民の皆様のご支援とご協力をいただき野木町の教育の発展に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。